

先週末までのマーケット動向(2月14日~2月18日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,200.0	1,201.1	1,191.1	1,195.9	▲2.6
JPY/KRW	10.3815	10.4435	10.3382	10.3829	+0.060
KOSPI	2,715.10	2,770.66	2,665.47	2,744.52	▲3.19

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。11日海外時間に米国政府がロシアはウクライナにまもなく侵攻する可能性がある」と発表すると、14日は市場全体でリスクオフとなり株式市場は軟調に推移した。かかる中ドル/ウォンも先週末対比上昇し1,200.0ウォンでオープンしたものの、1,200を越える水準では実需のウォン買いがしっかり入り上昇幅は限定的。引けにファットフィンガーと思われる動きで週安値1,191.1をつけるも、実質的には1,190ウォン台後半で推移した。16日発表されたFOMC議事録では警戒されていた3月50bpの利上げについて具体的な言及が無く市場はドル売りとなる中、17日はドル/ウォンは1,194.6まで下落。しかし、ウクライナが親ロシア支配地域に向け砲撃したとの報道にドル/ウォンも反発。結局、ドル/ウォンは先週末対比2.6ウォン下落した1,195.9ウォンにてクローズした。

今週の見通し

来週のドル/ウォン相場はやや底堅い展開を予想する。ウクライナを巡る地政学リスクの高まりは引き続き市場のテーマではある一方で、日がたつに連れ反応は鈍くなりつつある。24日に米口外相会談があることから外交的解決の期待感も残り、大きな為替変動を伴ったリスクオフ相場にはなりにくいのではなかろうか。なお、24日に控えるBOK会合では1月までの利上げの効果を検証するに留まると見られており、ドル/ウォン相場への影響は限定的となろう。

予想レンジ

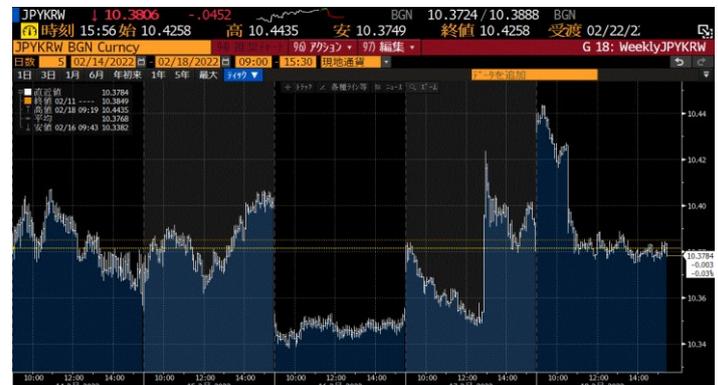
USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1185 ~ 1210	10.25 ~ 10.50	114.0 ~ 116.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 21日(月) 欧 2月 製造業PMI 速報値
欧 2月 サービス業PMI 速報値
- 22日(火) 米 2月 製造業PMI 速報値
米 2月 サービス業PMI 速報値
米 2月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 23日(水) 欧 1月 CPI 確報値
- 24日(木) 米 1月 新築住宅販売件数
米 4Q GDP 二次速報
韓 BOK 政策金利発表
- 25日(金) 米 2月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 1月 耐久財受注 速報値
日 2月 東京都区内CPI
米 1月 個人所得
米 1月 個人消費